

地域医療の大きな力に

みんなの意識で変わる救急医療

救急現場が大変な状況に

・「コンビニ外来受診」に現場の医師は右往左往

外来診療を行っていない休日や夜間の時間帯に緊急性のない軽度の症状でも、安易な自己都合で救急外来を受診する「コンビニ外来受診」が問題視されています。これは救急外来の混雑につながり、緊急性の高い重症患者への対応が遅れることに繋がってしまうかもしれません。病院の医師やスタッフの負担が過重になり、地域の救急医療体制が維持できなくなる恐れもあり、救急現場は、体制維持のため、今、とても大変です。



そこで皆様をお願いします

・かかりつけ医を持って、救急現場を救ってください

なるべく日中のうちにかかりつけ医や最寄りの医療機関を受診してください。診療時間外で、朝まで様子を見てよいか、救急の夜間外来を受診するか、救急車を呼ぶか、悩んだときは、下記に電話相談してみてください。

病院へ行く？ それとも救急車？

子どもの急な病気 救急診療？ 自宅で見守る？

救急車を呼ぶか迷ったら

☎ #7119

福岡県が実施する救急医療センター事業

救急車の利用や最寄りの医療機関についてアドバイスしてくれます。救急の相談には看護師が対応し、緊急性が高い場合は救急車を勧められます。

受け付けは、24時間年中無休です。

繋がらないときは ☎ 092-471-0099 へ。

子どもの急な病気に迷ったら

☎ #8000

福岡県が実施する小児救急電話相談事業

看護師や小児科医が必要に応じて助言してくれる電話相談窓口です。平日19時～7時、土曜日12時～7時。日曜日、祝日、12月29日～1月3日、8月13日～15日は24時間受け付け。

繋がらないときは ☎ 092-731-4119 へ。

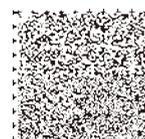


ご注意ください



もちろん緊急時は119番に

緊急時はすぐに、119番で救急車を呼んでください
電話番号のかけ間違いには十分ご注意ください



あなたの身近なお医者さん かかりつけ医といっしょに健康管理

かかりつけ医とは、日常的な診療や健康管理を
してくれる身近な医師のことをいいます。



受診すると病状などの情報をカルテで管理してもらえるので、継続的にかかることで、自身の病歴や体質・生活習慣などを踏まえた診察を受けることができます。

治療は中断せずにつづけましょう。

特に糖尿病や高血圧などの生活習慣病は、生活習慣を整えながら治療を続けることが健康管理の基本です。自覚症状がなくても治療は根気よく続けていきましょう。



受診の時の極意

・普段から気になったことはメモにして
医師につたえましょう。



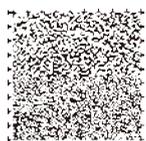
・お薬の飲み忘れがあったときは医師に伝えましょう。

検査結果を読み取る時の判断材料になるほか、お薬の量の調整や、より生活リズムにあったお薬への変更ができることもあります。これによって、飲み忘れ防止や医療費（お薬代）の節約にもつながります。

・自分の健康は自分で作り守るもの。自分のからだの状態について説明を
よくきき、わからないことは医師に尋ねましょう。

生活習慣病を治療中の場合は、年齢や過去の病歴によって血圧や血糖値などの管理基準が異なります。

医師に任せきりにするのではなく、普段から自身の管理基準を知り、健康管理につとめましょう。



問い合わせ先

久留米市 健康福祉部 医療・年金課

電話 : 0942-30-9196 FAX : 0942-30-9107

E-mail : iryounen@city.kurume.fukuoka.jp